

卒業要件

卒業には4年以上在学し、以下の表に記載の単位を修得する必要がある。

(1) 単位修得要件(医薬保健学域規程 別表第1から抜粋)

区分		修得すべき単位数及び条件	
共通教育科目	導入科目		大学・社会生活論 1単位 データサイエンス基礎 1単位 国際・地域概論 1単位
	GS科目(6群)		1群から5群の各群から2単位以上 6群から3単位 計15単位*
	GS言語科目		Practical English 4単位 EAPコース 4単位
	自由履修科目 ※	32単位以上	2単位以上 GS科目、基礎科目及び初習言語科目の最低修得要件を超えて修得した科目、並びにその他の共通教育科目(導入科目及びGS言語科目を除く)を指します。
	基礎科目		微分積分学IA 1単位 微分積分学IB 1単位 統計数学A 1単位 統計数学B 1単位
	初習言語科目		
専門教育科目	学域GS科目	6科目 6単位	医薬保健学基礎I 1単位 医薬保健学基礎II 1単位 アカデミックスキル 1単位 プレゼン・ディベート論 1単位 医薬科学イノベーション概論 1単位 医薬科学基礎実習 1単位
	学域GS言語科目	2科目 2単位	学域GS言語科目I(医薬科学英語I) 1単位 学域GS言語科目II(医薬科学英語II) 1単位
	専門基礎科目	10単位	
	専門共通科目	21単位	
	コース専門科目	49単位以上	必修科目34単位、選択科目15単位以上 【生命医科学コース】 選択科目のうち、創薬科学コースにおいて必修とするコース専門科目(授業形態:講義)2単位以上を、選択必修とする。 【創薬科学コース】 選択科目のうち、生命医科学コースにおいて必修とするコース専門科目(授業形態:講義)2単位以上を、選択必修とする。 ※選択科目のうち、所属コース以外のコース専門科目(授業形態:講義)は、選択必修とする2単位以上を含め4単位までを卒業に必要なコース専門科目の単位に含めることができる。
課題研究科目	10単位		
卒業に必要な単位数		130単位以上	

*GS科目「2E 細胞・分子生物学」の履修を強く推奨し、「6A インテグレートド化学(化学の世界)」の履修を推奨する。
*学域GS科目におけるGS科目発展系の修得単位は、卒業に必要な単位数に算入できない。
*「医薬科学演習I」(3年次、0.5単位)の単位認定要件の一つとして、英語外部検定試験のスコア(TOEIC525点以上もしくは同等以上)の提出を課す。

共通教育科目の開講科目等は、金沢大学共通教育科目に関する規程の定めるところによる。

コース配属

- (1) 生命医科学コースおよび創薬科学コースへの配属は入学年度ごとに決定される。
各コースの定員は、配属コース判定時に対象者が偶数の場合は両コース同数となり、奇数の場合は希望者の多いコースが他コースより1名増となる。
- (2) コース配属は、学生の希望により決定される。ただし、希望者数が定員を超過した場合は1年終了時までの「コース選択 GPA」の順位により決定される。「コース選択 GPA」は「全科目 GPA」とは異なり、以下に示す共通性の高い科目を対象として算定される。
決められた期日までに配属希望コースを申し出なかった場合は、定員に空きのあるコースに配属されるので注意すること。

※「コース選択 GPA」対象科目

- ・共通教育科目:卒業に必要な基礎科目4科目(必修4単位)
- ・専門教育科目:専門基礎科目10科目(必修10単位)

※「コース選択 GPA」対象外の科目

- ・入学前の既修得単位認定等による認定科目

なお、「コース選択 GPA」が同一の場合は、「コース選択 GPA」対象科目において(i)~(iii)の順に上位者を決定する。

- (i) 1年終了時までの対象科目の総修得単位数が多い者を上位とする。
- (ii) 対象科目の上位評価(S,A,B,C)数が多い者を上位とする。
- (iii) 対象科目の総得点が高い者を上位とする。

- (3) コース配属に際しては、1年終了時点で次の条件をすべて満たしていなければならない。
- ① 共通教育科目の基礎科目4科目(必修4単位)及び専門教育科目の専門基礎科目10科目(必修10単位)を履修していること。
 - ② 専門教育科目において、1年次に開講される学域GS科目5単位及び専門共通科目1単位を修得していること。
 - ③ 共通教育科目において、卒業に必要な32単位以上のうち28単位以上を修得していること。
- (4) (3)の条件を満たさない学生については、別途、その集団における「コース選択 GPA」順位を決定し、(3)の条件を満たした学生の最下位者の次に置く。
- (5) 予期せぬ休学等でコース配属の決定に著しい不公平が生じる場合には、別に協議する場合がある。

進級要件

3年次へ進級するためには、2年終了時において、卒業に必要な共通教育科目32単位以上のうち29単位以上を修得し、かつそこまでに開講される専門教育必修科目48単位以上を修得していること。
なお、3年次に進級できない場合は、3年次開講科目は履修できない。

卒業研究における研究室配属

卒業研究とは、医薬科学研究Ⅰ～Ⅲを指す。

卒業研究での配属研究室は、学生の希望及び2年終了時における「全科目 GPA」の順位などに基づいて決定される。研究室ごとの定員や詳細な配属方法は別途指示する。研究室配属は3年次第2クォーターからとなる。なお、3年次に進級できない場合は、研究室には配属されない。

卒業に必要な英語能力基準

本学では、「徹底した国際化による、グローバル社会を牽引する人材育成と金沢大学ブランドの確立」のために、在学中に2回の英語外部検定試験^{※1}受験を義務付けており、指定スコアの達成が卒業に必要なとなる。

1回目の英語外部検定試験として、1年次第4クォーターで本学が実施する TOEIC-IP テストを受験する。その後、2年次以降(3年次の受験を推奨)に、2回目の英語外部検定試験を自ら受験しそのスコアを期限までに提出しなければならない。^{※2}

医薬科学類では、3年次に開講される専門教育科目「医薬科学演習Ⅰ」(必修科目)の単位認定要件として、2回目の受験および TOEIC 525 点以上もしくは同等以上^{※4} のスコア達成を定めている。

なお本学では、英語学習のための e-Learning 講座、受験対策講座、個別相談による学習支援など継続的な英語学習に向けたサポートを実施している。

※英語学習支援(金沢大学> 教育・学生支援・学生活動 > 学修支援> 英語学習支援)

URL <https://www.kanazawa-u.ac.jp/students/stady>

- ※1 対象英語外部検定試験 : TOEIC 公開(Listening & Reading Test), TOEIC-IP(Listening & Reading Test IP テスト), TOEFL, IELTS, 実用英語技能検定
- ※2 ただし、本学が定める達成基準(TOEIC 760 点以上, TOEFL-iBT 80 点以上もしくは同等以上^{※3})を満たし、提出時点において有効なスコアを有する者及び大学が定める英語圏を国籍とする者は、2回目の受験が免除される。
- ※3 TOEFL-ITP 550 点以上, IELTS 6.0 以上, 英検準1級以上
- ※4 TOEFL-iBT 53 点以上, TOEFL-ITP 477 点以上, IELTS 4.5 以上, 英検 2 級以上